## U-Smile 〜みんなでつなぐ子ども応援プログラム 助成金申請書 (地域協働型包括教育支援事業)

様式1

2025年6月5日提出

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

理事長 鈴木 佑司 殿

埋事長 鈴木 佑口	] 殿			
申請者団体名	○○ユネスコ協	<b>盆</b> 会		
申請者 団体代表者名	役職:会長 氏名:□□ □□			
申請者 連絡先住所	〒XXX-XXXX ○○県○○市○○町 XX-XX			
申請者 事業責任者名	$\Diamond\Diamond$ $\Diamond\Diamond$		TEL: XXX-XXXX-XXXX 電子メール: XX@XX.jp	
(推薦の場合) 構成団体会員名				
(推薦の場合) 構成団体代表者名	役職:	氏名:		
(推薦の場合) 構成団体連絡先	₹			
(推薦の場合) 事業責任者名			TEL: 電子メール:	
事業名称	食事付 個別指導	尊型 無料学習塾		
対象分野 ※要項にある分野を	2 ①	学習支援拠点の運営		
記載してください。				
複数年の	☑ 該当する	5 (申請初年度: 2025年	E度) □ 該当しない	
助成申請か		(申請終了年度:2027年	手度)	
助成申請金額	当年度	1,000,000 円 (初年	<b>F度の場合:うち初期費用</b>	120,000円)
(申請は当初申請か	(次年度予定			
ら最大3年間まで)	(次々年度予	予定 850,000 円 )		
	(承諾する場合には、□に√を記入のうえ、代表者が署名する)  ☑ 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が定める「U-Smile ~みんなでつなぐ子ども応援プログ			
助成金交付規程 の承諾	フム助风金父	「付規程」を承諾のうえ、F		2025年 6月1日
	申請団体代表者	(自署) 山田 太江	(必ず申請者ご本人が署名してくた	: ¿ v)

	(承諾する場合には、□に√を記入の	うえ、代表者が署名する)			
(推薦の場合)	□ 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟	盟が定める「U-Smile 〜みんなでつた	よぐ子ど	も応援	プロ
助成金交付規程	グラム助成金交付規程」を承諾の	うえ、申請します。			
の承諾		署名日	年	月	日
	推薦団体代表者(自署)				

## 【事業内容】

1.	事業の目的	地域でなぜこの事業が必要なのかという背景や、地域のどのような課題やニーズを
	解決すべき地域課題等	解決しようとしているのかをご記載ください
		・事業の目的:誰も取り残さない社会づくり
		・解決すべき地域課題や背景:○○市の○○地区には市営団地が多く、ひとり親世
		帯や生活保護世帯の割合が高い。そのため、有料の塾に子どもを通わせる余裕のな
		い家庭も多く、市が行う無料学習塾からも距離的に遠いため、支援が行き届いてい
		ない。このような世帯の小学生の学力を底上げし、格差の解消を目指して、学習及
		び居場所の提供を行う。行政、他団体、学校とも連携し、地域全体で協働すること
		で、誰も取り残さない社会を目指す。
2.	事業内容	実施する事業内容の詳細や、対象者・対象人数等をご記載ください
		・毎週水曜日に、〇〇団地の会議室を借りて、16-18 時は学習タイム、18-20 時は
		食事・居場所タイムとして開室する。
		・〇〇市内の小学1~6年生を対象に、最大 15 名を受入れ、大学生・社会人の講
		師ボランティアによる学習支援を行う。(学校の宿題サポートの他、連携する学校
		から提供されたプリントを使用する。)
		・2時間の学習タイム終了後、食事提供も含めた居場所を提供する。食事提供は〇
		○子ども食堂と連携し、食前・食後の時間で子どもたちは折り紙や工作ができるス
		ペースを確保する。
		・講師ボランティアが、学習から食事、リラックスタイムまで子どもと一緒に過ご
		すことで、学習面だけでなく、食事や心のつながりを含めた包括的な支援を行う。
		・今後、同様の課題を抱える他地域でも展開できるようなモデルを作っていく。
3.	期待される成果	事業を実施することで期待される成果(事業目的の達成に寄与するもの)をご記載
		ください
		・学習の遅れを取り戻すことにより、自信を取り戻し、自己肯定感がアップする。
		・大学生や地域の社会人等、多様な大人と関わることでロールモデルの意識づけが
		でき、将来の選択肢の幅が広がる。
		・子どもにとっては家庭・学校以外の居場所ができ、保護者にとっても子育てに関
		する情報を得たり相談したりする場が増えることで、双方の心の安定につながる。
		・本活動を通し、大学生や地域の方にユネスコ活動に関心を持ってもらい、今後の
		支援者獲得に繋げる。
4.	成果の指標や測定方法	具体的な成果指標(定量的な数字=人数や回数等)やその指標の測定方法(アンケ
		ート、参加者リスト等)をご記載ください
		・参加者リストの作成
		・継続参加者数の推移

		・講師ボランティアのリスト作成
		・参加者へのアンケート実施(9月、3月)
		2 2
		・保護者へのアンケート実施(12月) - ************************************
		・講師ボランティアへのアンケート実施(12月)
		・参加者の進路希望・進学状況調査
5.	事業の結果がもたらす	事業を実施することで、事業目的達成以外にも地域への波及効果が考えられる場合
	地域との関わりや	にはご記載ください(ユネスコ協会・クラブの認知度向上、ユネスコ協会・クラブ
	波及効果について	とユネスコスクールとの連携強化等)
		・ユネスコ協会・クラブの認知度向上
		・地域の学校や子ども支援団体との連携
		・本課題に関する地域での関心度アップ
6.	実施期間	
		2025年 8月 1日 ~ 2026年3月31日
7		
7.	実施場所	○○県○○市○○町 XXXXX
	>= >> + 11 d.d.	
8.	運営体制	計画されている事業をどのような体制で行うのか、事業をご記載ください
	(実行委員会、	・実行委員会4名
	担当人数、	・担当 10 名
	当日スタッフ人数)	・講師ボランティア:10 名(今後拡充予定)
		・調理ボランティア:2名
9.	事業開始年	事業開始年 : 2024 年
	助成申請年数	助成申請年数: 1年目
10	<b>产担去某人</b> 基件子让放	フルナの支佐・ビ呼の「丛屋」フルナムとことでは、ビ呼の八日砂と同事
10.	広報方法や募集方法等	・子どもの募集:近隣の小学校と子ども食堂でチラシを配布、近隣の公民館や図書
		館でチラシの掲示や配布、地域の掲示板にチラシを掲示。
		<ul><li>・講師ボランティアの募集:○○大学のボランティア掲示板・地域の掲示板にチラー</li></ul>
		シを掲示、ボランティア募集サイトでの情報発信。(現在 10 名が登録済)
11.	持続発展性	本助成金終了後に事業の効果をどのように継続するかを記載してください
		・地元の企業や支援者からの継続的な寄付を募る。
		・○○大学と連携し、継続的に学生ボランティアを確保する。
12.	協力団体	一緒に事業を実施する団体等があればご記載ください
		・NPO 法人 ○○○ (資金提供・食材提供)
		・NPO 法人 〈〉〉〉 (学習教材の提供)
		<ul><li>・○○大学 (学生ボランティアの募集)</li></ul>

## 13. 実施までのスケジュール

期日	内容
2025年5月上旬	実行委員会設置 年間計画作成
2025年5月中旬	役割分担決定

2025年6月上旬	講師ボランティア募集
2025年6月下旬	参加者募集
2025年7月中旬	ボランティア説明会及び研修

## 【応募書類】

① 助成金申請書〔様式 1〕 🔻

② 助成金予算書〔様式 2A·B〕 ☑

③ 助成金振込口座指定書〔様式 3〕 ☑

④ 振込口座の通帳写し ☑

※書類不備の場合は、審査対象外となりますので、ご了承ください。